

株式会社 JSP

# 第65回定時株主総会

2023年 6月29日



# 事業報告

# 経済環境及び市況の概況

## 世界経済

- 新型コロナウイルス感染症再拡大の影響による半導体などの部品供給不足
- ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰などの物価上昇
- 金融資本市場の変動

回復基調は鈍化

# 経済環境及び市況の概況

## 日本経済

- 制限されていた経済社会活動が正常化
  - ▶ 個人消費・設備投資などが持ち直す
- 資源エネルギー価格の高騰と急激な円安による物価上昇
- 供給面での制約の影響

先行き不透明な状況

# 経済環境及び市況の概況

## 国内発泡プラスチック業界

- 需要の回復が足踏み状態
- 原材料価格やユーティリティコストが高騰



非常に厳しい状況

# 当社グループの経営成績

## Change for Growth

### 中期経営計画の基本コンセプト

経済価値だけでなく、顧客や社会の課題解決などの社会的価値へと提供価値を拡大

経営基盤の強化

# 当社グループの経営成績

## Change for Growth

- サステナビリティ経営への取り組みを通じたブランド価値の創造
- 顧客ニーズを捉えた製品差異化策の追求



更なる企業価値向上に取り組む

# 当社グループの経営成績

売上高

- 製品価格改定



増収

営業利益

- 原材料価格の  
度重なる上昇に対する  
製品価格改定時期の遅れ
- ユーティリティコスト高騰



減益

# 当社グループの経営成績

(百万円)

	前 期	当 期	前期比
売 上 高	114,125	131,714	15.4%
営 業 利 益	4,589	2,956	△35.6%
経 常 利 益	4,868	3,363	△30.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,893	2,531	△12.5%

# セグメントごとの業績

株主総会資料 23～25ページ

# セグメントごとの業績

## 押出事業

### 生活資材製品

- 食品トレー向け分野
- ディスプレイ材「ミラボード」
- 新用途販売増加    ■ 製品価格改定

増収

# セグメントごとの業績

## 押出事業

### 産業資材製品

- 製品価格改定
- 付加価値の高い製品
- 汎用製品

減少

減収

# セグメントごとの業績

## 押出事業

### 建築土木資材製品

- 建築・住宅分野向け
- 土木分野向け
- 製品価格改定

前期並み

増収

# セグメントごとの業績

## 押出事業

■ 販売 ▶ 前期並み

■ 製品価格改定

■ 製品価格改定時期の遅れ

■ ユーティリティコスト高騰

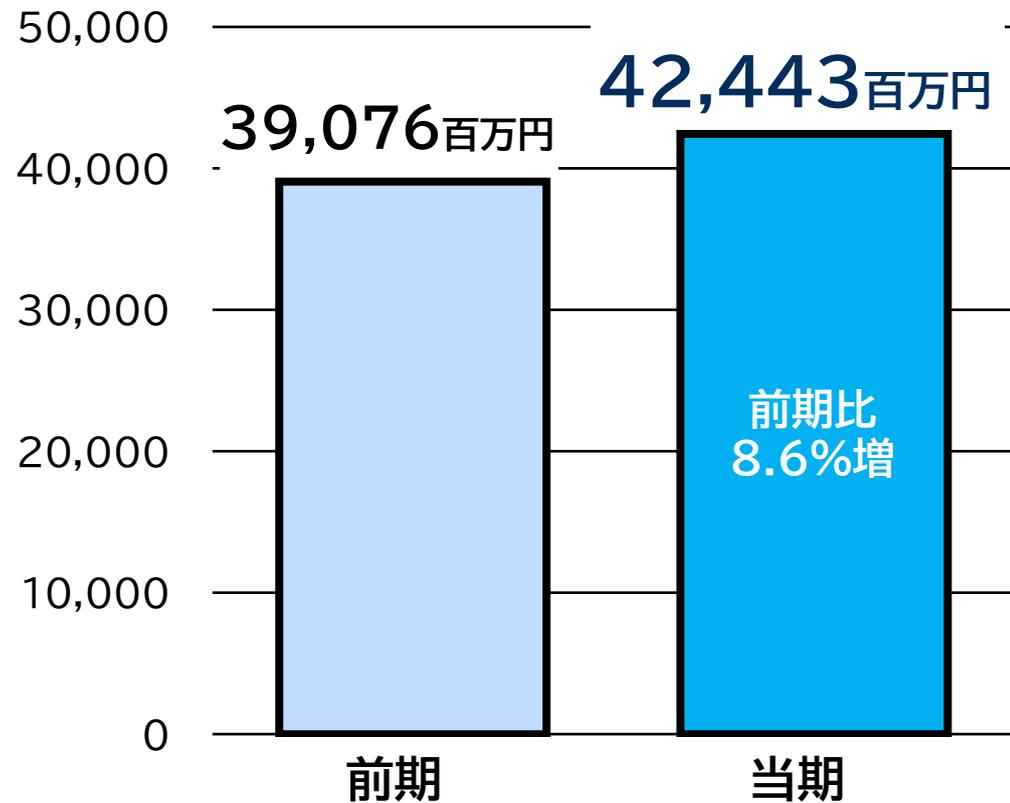
増収

減益

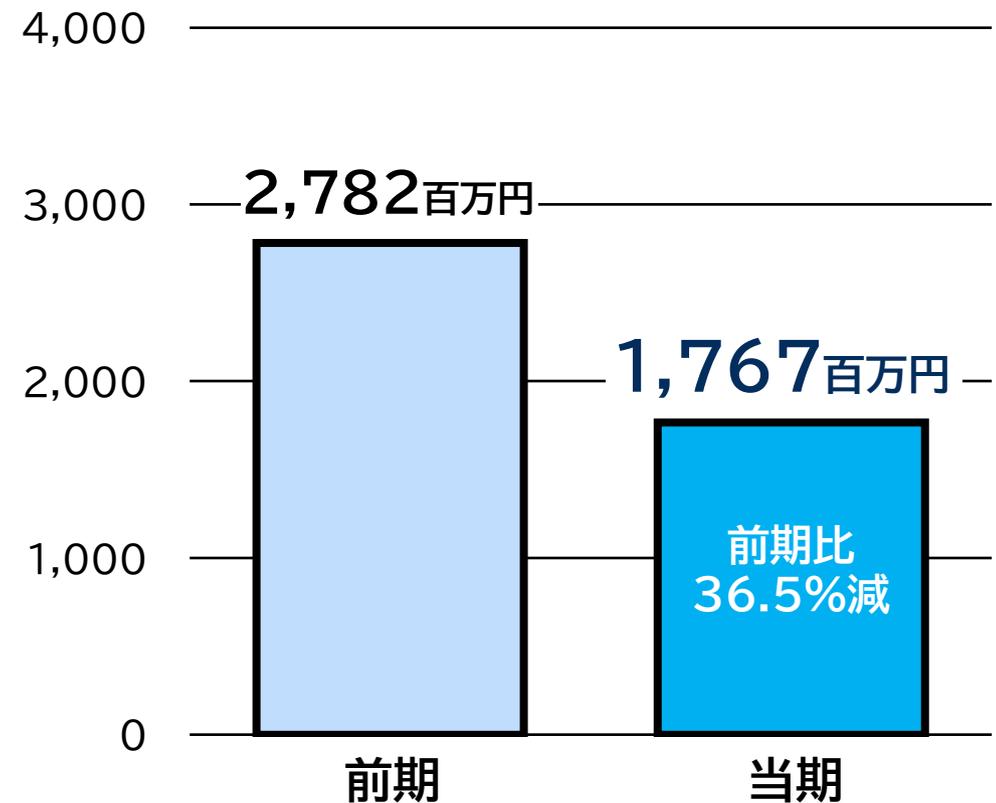
# セグメントごとの業績

## 押出事業

### 売上高



### 営業利益



## セグメントごとの業績

ビーズ事業

高機能材製品

- 新型コロナウイルス感染症拡大
- ウクライナ情勢に関連した影響

緩やかな増収

# セグメントごとの業績

## ビーズ事業

### 高機能材製品

国内

▶ 自動車分野の回復の遅れ

▶ 前期並み

北米

▶ 前期からの回復  
▶ 通い函などが好調

▶ 増加

# セグメントごとの業績

## ビーズ事業

### 高機能材製品

欧州

- ▶ 自動車分野が低調
- ▶ HVAC向けなどが好調

▶ 前期並み

南米

- ▶ 自動車分野が好調

▶ 増加

# セグメントごとの業績

## ビーズ事業

### 高機能材製品

中国

▶ 自動車分野向けが好調

▶ 新型コロナウイルス感染症  
急拡大

▶ 減少

台湾

▶ 液晶パネル向け需要が低調

▶ 減少

# セグメントごとの業績

## ビーズ事業

### 発泡性ビーズ製品

- 水産分野の需要 ▶ 減少
- 製品価格改定 ▶ 増収

## セグメントごとの業績

ビーズ事業

発泡性ビーズ製品

「FOAMCORE」の需要回復



増収

# セグメントごとの業績

## ビーズ事業

- 高機能材製品の販売増加
- 製品価格改定
- 製品価格改定時期の遅れ
- ユーティリティコスト高騰
- 人件費高騰



増収

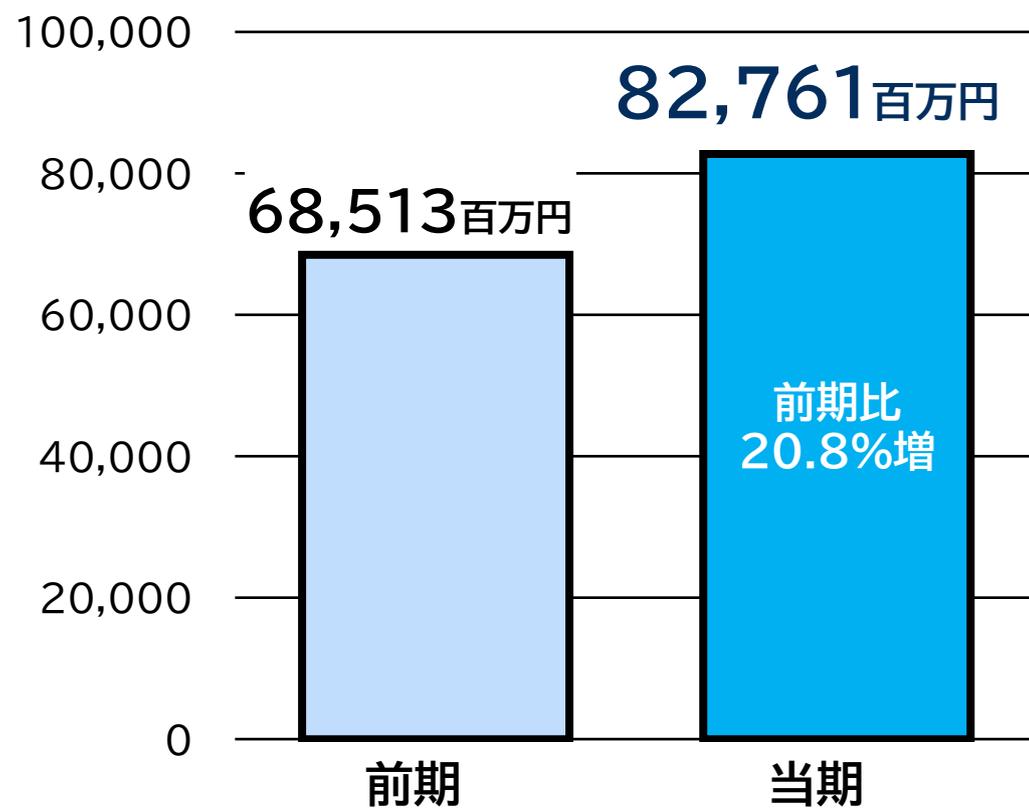


減益

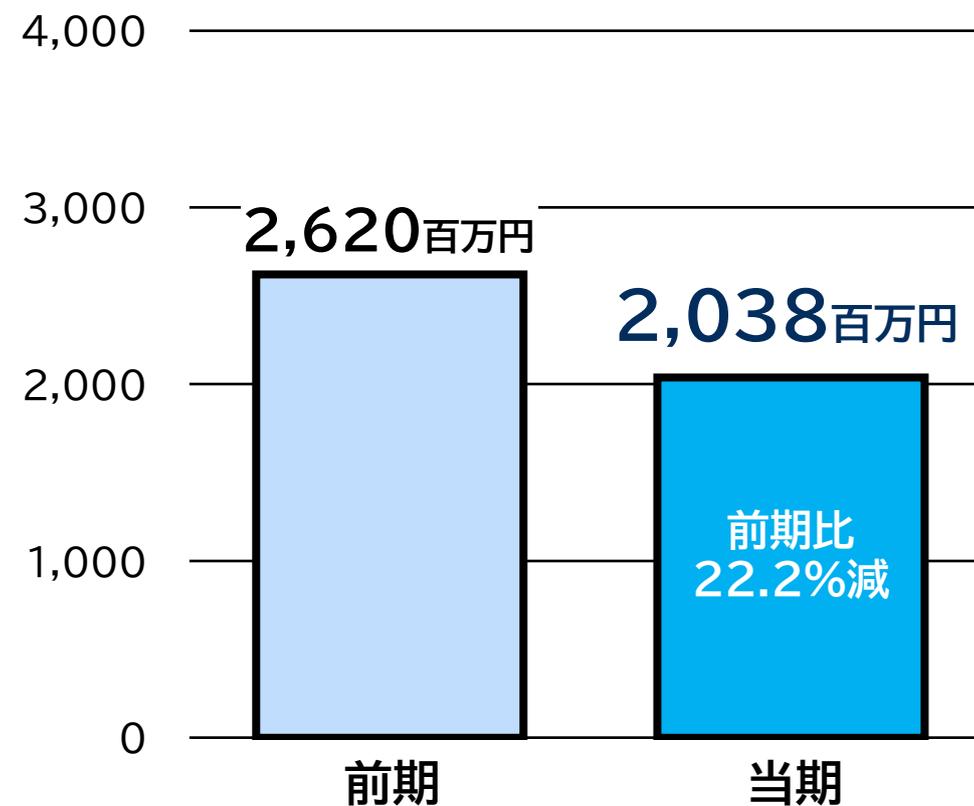
# セグメントごとの業績

## ビーズ事業

### 売上高



### 営業利益



## セグメントごとの業績

その他

一般包材

国内

■ 自動車部品輸送関連等の販売回復

増収

中国

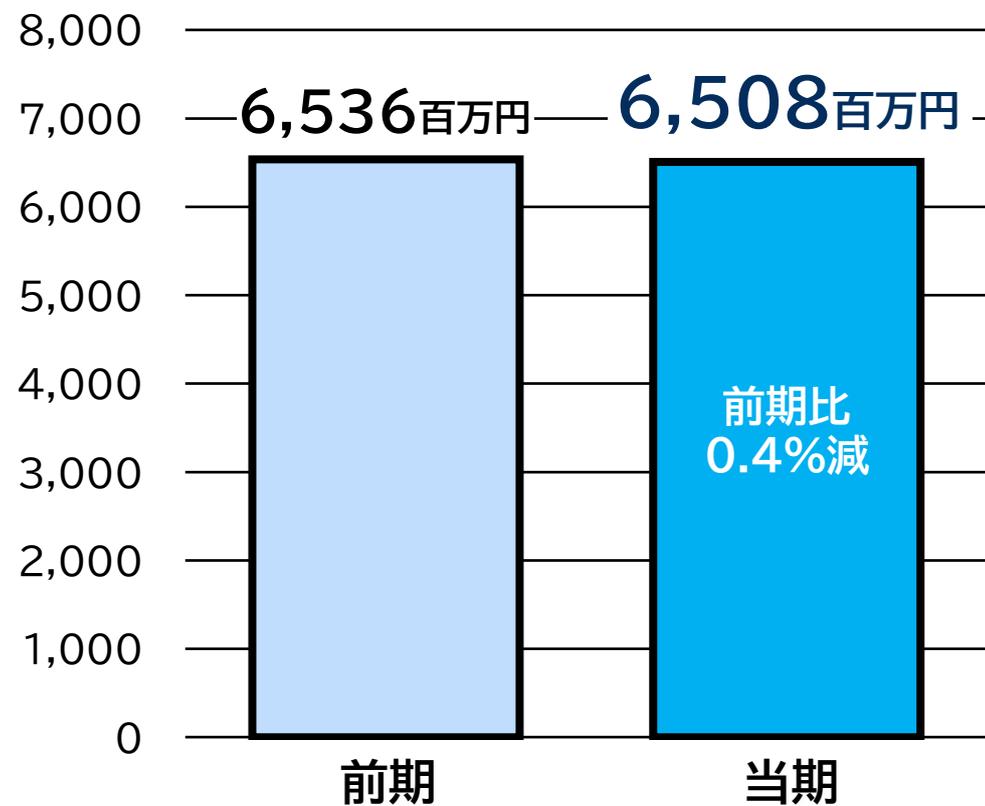
■ 各種部品関連の需要の影響

減収

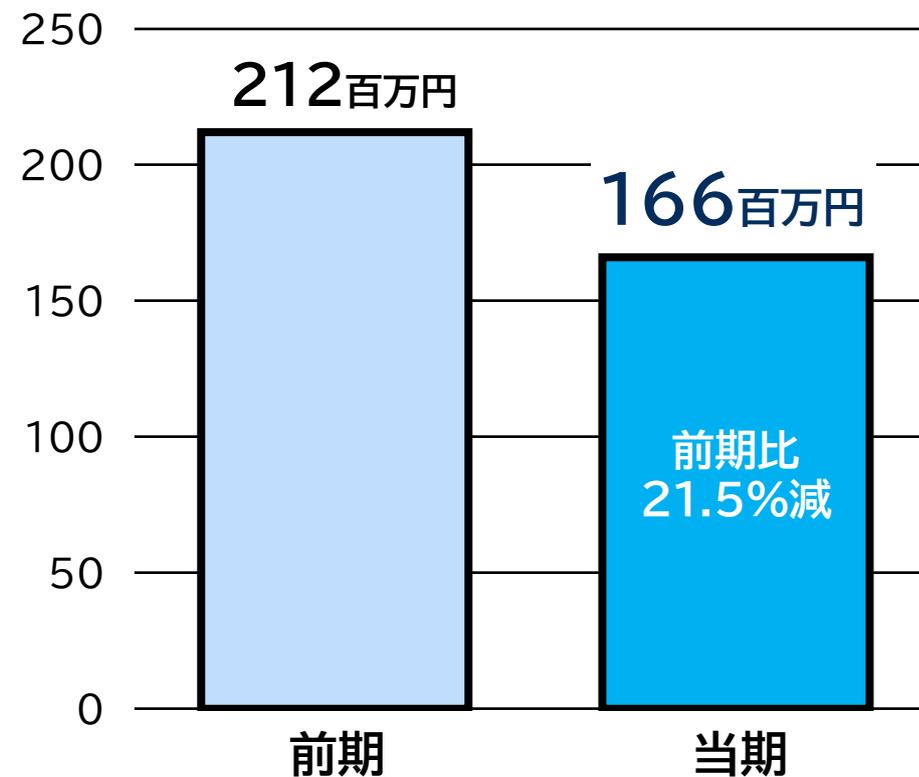
# セグメントごとの業績

## その他

### 売上高



### 営業利益



## 設備投資の状況

# 設備投資の総額

8,427百万円

- 生産設備の増強・改善合理化

## 資金調達の状況

- 自己資金・金融機関からの借入金で充当

# 対処すべき課題

株主総会資料 29ページ

## 対処すべき課題

創造的行動力による社会への貢献

**E** 環境

**S** 社会

**G** 企業統治

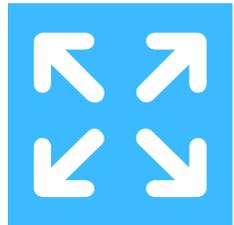
『サステナビリティ経営』に取り組む

# 対処すべき課題

## VISION 2027実現へのプロセス



既存事業の強化・拡大



事業領域の拡大



経営基盤の強化

**2018-2020**

中期経営計画

Deeper & Higher  
2020

<ビジョン>  
「更なる深化と成長」

<基本方針>

- 成長戦略の推進
- 差異化戦略の推進
- 経営基盤の強化

**2021-2023**

中期経営計画

Change for Growth  
2023

<基本コンセプト>

- 経済価値だけでなく、顧客や社会の課題解決などの社会的価値へと提供価値を拡大
- 経営基盤の強化

<変革戦略>

- 循環性の高いビジネスモデルへのシフト
- 組織の活性化・効率化の推進

**2024**  
|  
**2026**

**VISION 2027**

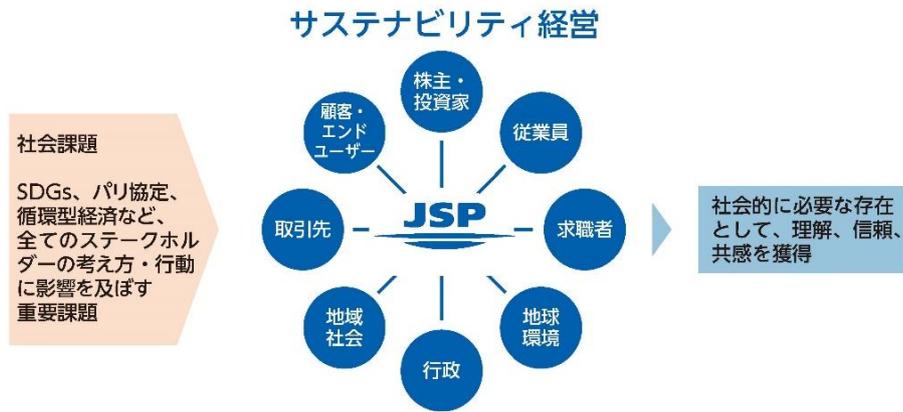
ありたい姿  
(目指す姿)

真のグローバル  
サプライヤーとして  
社会から必要と  
される企業

# 対処すべき課題

## 基本コンセプト

### 1. 「経済価値だけでなく、顧客や社会の課題解決などの社会的価値へと提供価値を拡大する」



### 2. 「経営基盤の強化」

長期ビジョンに基づき、社会から必要とされる企業をめざし、人材育成の強化、安全衛生及び環境保全の企業文化の醸成、コーポレートガバナンス強化に取り組み、経営基盤の強化に努めます。新中計では、新たに「情報システム基盤の強化」と「働きがいのある企業風土の醸成」を加えました。



## 変革戦略

### 1. 循環性の高いビジネスモデルへシフト

### 2. 組織の活性化・効率化の推進

## 対処すべき課題

- コロナ禍の影響
- ロシア・ウクライナ情勢
- 資源・資材の高騰

▶ 課題の整理

次期中期経営計画の策定に繋げる

## 対処すべき課題

1 成長エンジンにおける課題

2 収益性改善における課題

3 現中期経営計画の  
基本コンセプトに関わる課題

4 変革戦略における課題

# 対処すべき課題

## 1 成長エンジンにおける課題

### 4つの成長エンジン



#### 自動車関連部品

2019年度数量比

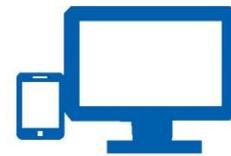
**23%増**



#### 建築住宅断熱材

2019年度数量比

**12%増**



#### FPD表面保護材

2019年度数量比

**20%増**



#### 新たな事業領域

新規事業

**30億円**

# 対処すべき課題

## 1 成長エンジンにおける課題



自動車関連  
部品分野

- 自動車生産台数回復の遅れによる  
ピーブロックの販売数量の成長鈍化
- 省エネ・リサイクル要求に対応した  
次世代製品の市場への投入



電気自動車に要求される部材・  
自動車部品等の輸送に使われる通い函等

# 対処すべき課題

## 1 成長エンジンにおける課題



建築住宅  
断熱材分野

- 高性能・新次世代型断熱材・割付断裁品の拡販
- リフォーム分野への深耕を推進
- デジタル化などによる業務効率改善・コスト削減

# 対処すべき課題

## 1 成長エンジンにおける課題



フラットパネルディスプレイ  
表面保護材分野

- 2022年度は特需終了に伴う生産調整により、販売が低下



新規用途開発・新規顧客開拓に取り組む

# 対処すべき課題

## 1 成長エンジンにおける課題



新たな  
事業領域

- GHEPI社に35%出資
- 発泡技術と新しい射出成形技術の複合化により、技術的優位性を構築



さらなる市場の拡大を目指す

# 対処すべき課題

## 2 収益性改善における課題

- 物価上昇圧力の基調は根強い
- 多くの国・地域で労務費が上昇傾向
- 価格改定を適正に行い収益性を改善
- 外部環境の変化に強いバランスのとれた高収益型企业への転換

## 対処すべき課題

### ③ 現中期経営計画の基本コンセプトに関わる課題

資源循環を追求する動きが加速すると想定



## 顧客・社会の課題解決に取り組む

- 環境対応型製品による貢献
- プラスチック資源循環への貢献

## 対処すべき課題

### 3 現中期経営計画の基本コンセプトに関わる課題

- 事務業務の効率化
- 生産工程の自動化・省力化
- セキュリティ強化

情報システム  
基盤の強化

- 働きがいのある企業風土の醸成

## 対処すべき課題

### 4 変革戦略における課題

- 循環性の高いビジネスモデルへの取り組みを推進
- SDGsへの取り組みを通じて、新たな事業創出・事業基盤の強化を図る

# 対処すべき課題

## 4 変革戦略における課題

- 少子高齢化に伴う労働人口の不足
  - 生産工程の短縮
  - 製造ラインの自動化
- 専門性の高い特定分野の人材不足
  - 組織の活性化・効率化を推進
  - 人材育成システムの充実化

人手不足解消に努める

組織強化に努める

## 対処すべき課題

### 2023年度

- コスト削減・販売価格是正に努める
- サステナビリティ経営における課題に継続して取り組む
- 持続的な成長に向けた議論・実施計画の検討



次期中期経営計画の策定に取り組む

今後とも格別のご指導と  
ご支援をお願い申し上げます



**財産及び損益の状況の推移** 株主総会資料 27～28ページ

**重要な親会社及び子会社の状況**

**主要な事業内容**

**主要な営業所及び工場等の状況**

**従業員の状況**

**主要な借入先**

株主総会資料 33～37ページ

会社の株式に関する事項

会社役員に関する事項

会計監査人に関する事項

株主総会資料 38～46ページ

**当期利益配当**

---

**1株当たり50円**

**期末配当金**

---

**1株当たり25円**

**中間配当金 1株当たり25円**

# 連結貸借対照表

株主総会資料 48ページ

# 連結貸借対照表

(百万円)

	前 期	当 期	前期比 増減額
流 動 資 産	68,503	73,822	5,319
固 定 資 産	66,024	70,706	4,682
資 産 合 計	134,527	144,528	10,001

# 連結貸借対照表

(百万円)

	前 期	当 期	前期比 増減額
負 債 合 計	44,295	48,404	4,109
純 資 産 合 計	90,231	96,123	5,892
負 債 純 資 産 合 計	134,527	144,528	10,001

# 連結損益計算書

株主総会資料 49ページ

# 連結損益計算書

(百万円)

	前 期	当 期	前期比
売 上 高	114,125	131,714	15.4%
営 業 利 益	4,589	2,956	△35.6%
経 常 利 益	4,868	3,363	△30.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,893	2,531	△12.5%

1株当たりの当期純利益 84円91銭

# 連結株主資本等変動計算書

株主総会資料 50ページ

# 連結株主資本等変動計算書

株主資本合計

約86,766百万円

純資産合計

約96,123百万円

# 単体の計算書類

株主総会資料 51～54ページ

# 連結計算書類 監査結果報告

監査報告のとおりでございます

株式会社 JSP

# 第65回定時株主総会

2023年 6月29日

